

平成28年度当初予算編成方針について

「滋賀県基本構想」と「滋賀県行政経営方針」に基づき、施策の着実な展開に向けて取り組む、2年目の予算編成

■基本方針

- ①「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向けて、国や市町と連携しつつ、多様な主体との協働のもと、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」をエンジンとして、「新しい豊かさ」の創造・追求・具現化を図るべく、果敢に挑戦していく。
- ②安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き歳入・歳出両面から財政健全化の取組を進める。
(財政状況の認識)

歳入面においては、県税収入に地方交付税などを加えた一般財源総額の伸びが期待できない一方、歳出面においては、社会保障関係費や公債費など義務的な経費の増加が見込まれる中、国体開催に向けた施設整備をはじめとする大規模事業や公共施設等の老朽化対策などの財政需要に対応していくこととなり、歳入・歳出両面から将来的な財政運営を見据え、複雑化する行政課題への的確な対応が必要となる。

■予算編成方針のポイント

1 7つの重点テーマの設定による戦略的な施策構築

(7つの重点テーマ)

- ①子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現
- ②すべての人に居場所と出番があり、最期まで充実した人生を送れる社会の実現
- ③滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造
- ④琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現
- ⑤豊かに実る美しい地域づくりと滋賀・びわ湖ブランドの発信
- ⑥「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造
- ⑦人やものが行き交う活力ある県土づくりと安全・安心社会の実現

- 2 国の動きに呼応した施策の推進と国の施策・制度の活用
- 3 市町との連携強化
- 4 多様な主体との協働・連携
- 5 部局間連携の徹底
- 6 財政健全化の推進

1 7つの重点テーマの設定による戦略的な施策構築

基本構想に掲げる重点政策に沿った7つのテーマを設定するとともに、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」をエンジンとしながら施策を重点化。

2 国の動きに呼応した施策の推進と国の施策・制度の活用

地方創生に向けた取組や琵琶湖の保全・再生に向けた取組をはじめとする国の動きに呼応した施策を推進するとともに、活用できる国の施策や制度は、時期を逃すことなく最大限に活用。

3 市町との連携強化

人口減少社会への対応など、県政を取り巻く様々な課題の解決に向け、情報共有や意見交換などを通して、住民に最も身近な基礎自治体である市町との連携を強化。

4 多様な主体との協働・連携

本県が直面する様々な課題の解決に向け、県民をはじめとしてNPO、企業、大学など、多様な主体の特性や強みを活かしながら、協働・連携を推進。

5 部局間連携の徹底

効率的・効果的な施策を展開することができるよう、施策構築や予算編成を通して、各部局の緊密な連携を図り、組織の持てる力を最大限に発揮。

6 財政健全化の推進

持続可能な財政基盤の確立に向け、行政経営方針に基づき、「スクラップ・アンド・ビルドの徹底」、「選択と集中による投資的経費の重点化」などにより、財政健全化に向けた取組を一層推進。